

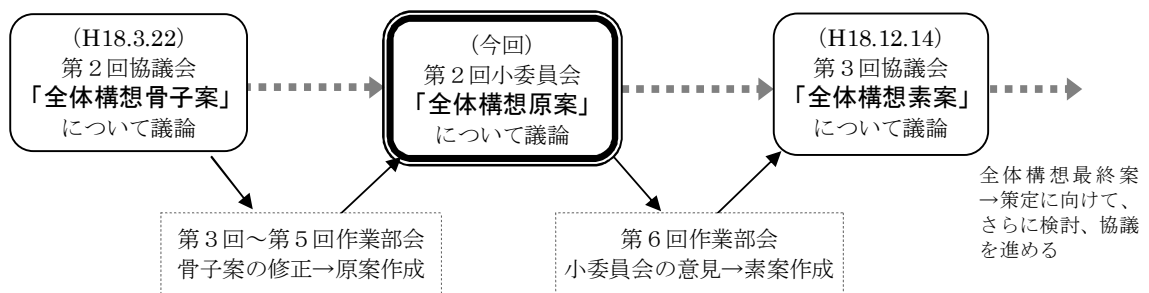
「阿蘇草原再生全体構想原案」の作成について

06.10.23 阿蘇草原再生協議会事務局

■全体構想原案の位置づけ

- ・ 「全体構想原案」は、第2回協議会における「全体構想骨子案」に対する意見を踏まえ、全体構想策定作業部会において骨子案を文章化するとともに、図表や写真等を挿入し、冊子に近い形でまとめたもの。
- ・ 原案については、各小委員会の第2回会合で協議していただき、提示された具体的な意見・修正案をもとに、さらに作業部会で作業を進め、H18年12月14日に開催予定の第3回協議会へ提出する「全体構想素案」としてとりまとめていく。

<第3回協議会までの流れ>



■原案作成にあたって考慮したこと

- ・ 対象としては、協議会構成員を第一に、さらに今後、協議会への参加を拡大していくため、地元の人々や都市住民など大勢の人々に理解してもらうことを前提に作成した。
- ・ 本文は、骨子案をベースに、なるべく簡潔にわかりやすい記述を心がけた。
- ・ 阿蘇の草原と草原再生について理解しやすいよう、各項目毎に、本文に関連して補足説明、データ、図、イメージ写真などを記載した。

■骨子案からの主な変更点

◇構成について

- ・ 「取り組みの進め方」は、取り組みを進めていく前提となる考え方であるため、「取り組みの内容」の前に入れた。
- ・ 「取り組みの進め方」として示していた6つの考え方を、「阿蘇ならではの草原再生を進めるために」「自然再生の共通の考え方を踏まえて」の2つの項目に分けて記述した。
- ・ 「取り組みの内容」として、現在設置されている小委員会に対応した4項目に加え、「観光」、「土地利用」の2項目を追加した。
- ・ 巻末資料として、「語句の説明」「協議会設立までの流れ」「協議会設置要綱、運営細則」を添付した。

■記述内容について

◇「3. 阿蘇草原再生の目標」

- ・ スローガンのような目標として、「草原の恵みを持続的に生かせる仕組みの再生」という意図を盛り込み、目指す草原の姿をイメージとして示した。
- ・ さらに、自然環境、農畜産業、地域社会の3つの分野で「再生」の目標を示した。

◇「5. 阿蘇草原再生の取り組み」について

- ・ 6つの大項目に整理した取り組みについて、それぞれ「現状」と「取り組みの内容」で構成し、さらにいくつかの中項目を設けて、方針と具体的内容を記載。
- ・ 「内容」については、協議会構成員により現在行われている取り組みや、これから進めていく取り組みについて、大枠を示すかたちで記述する。各小委員会での議論を経て、項目や文言の追加・修正等を行い、協議会で合意できる「内容」として充実させていく。

◇「6. 役割分担」の役割分担表について

- ・ 役割分担表の作成については、協議会構成員全員に、それぞれが関わる取り組みに関してアンケート調査をした上で作成することを提案している。詳細は、小委員会や協議会との調整を図りながら進めていく。

◇「資料」について

- ・ 「語句の説明」は、現在本編に掲載している用語を除いて記載。

◇掲載データや写真等について

- ・ 構成員の方々の提供があれば、より効果的なものに更新、差し替えを行う。